

第177回 教育研究評議会要録

日時 令和元年11月20日(水) 13時00分～15時18分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長, 藤原理事, 小路田理事, 小川理事, 井深理事, 成瀬副学長, 三成副学長,
吉村副学長, 春本副学長, 久保副学長, 野村文学部長, 渡邊理学部長, 黒子生活環境学部長,
高田人間文化研究科長, 石崎, 中山(満), 上江洩, 棚瀬, 中山(徹), 林井, 柳澤各評議員
列席者 酒居監事, 福田監事, 岩阪事務局次長/総務・企画課長, 桑原国際課長, 川村研究協力課長,
林財務課長, 清水施設企画課長, 鱸学務課長, 西村学生生活課長, 仲入試課長,
横井学術情報課長

議事に先立ち, 前回の記録の確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程等の制定等について

(1) 国立大学法人奈良女子大学職員給与規程の一部改正について

総務・企画課長から, 資料1により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

(2) 国立大学法人奈良女子大学役員給与規程の一部改正について

総務・企画課長から, 資料2により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

(3) 国立大学法人奈良女子大学教育研究支援員取扱要項の一部改正について

春本副学長から, 資料3により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 本日付けで施行することとした。

2. 新年俸制の方向性について

藤原理事から, 追加資料により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

3. 奈良先端科学技術大学院大学との包括協定締結について

井深理事から, 資料4により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

4. 大阪大学とのクロスアポイントメント協定の締結について

総務・企画課長から, 資料5により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

5. 奈良女子大学単位認定留学制度について

吉村副学長から, 資料6により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

6. その他

特になし

II 報告事項

1. 奈良教育大学との連携協議について

学長から, 設立推進協議会の協議状況について, 次年度国立大学経営改革推進事業の公募があれば申請すること及び徹底対話の実施に向けた調書の内容を双方で擦り合わせすることについて合意

したことの報告があった。また、法人本部の設置場所については協議中であり、次回の設立推進協議会で決定したいとの発言があった。続いて、井深理事から、設立準備室の下に法人統合後の事務組織の最適化と業務の効率化を検討するための検討グループを設置したことの報告があり、今後各グループで検討を進めていくが、委員会やセンターの在り方にも関係することから教員に意見をお聞きするので協力願いたいとの依頼があった。

2. 第258回役員会について

学長から、資料7により、第258回役員会の審議概要について報告があった。

3. 国大協通常総会について

学長から、資料8により、国大協通常総会の議事概要について報告があった。

4. 工学部の設置について

小路田理事から、資料9により11月7日の文科省相談の内容について報告があり、カリキュラムとディプロマポリシーとの対応、ポートフォリオなどでどのように学習成果を担保していくか、履修モデルの作成や履修指導方法について検討する必要があるとの説明があった。また、工学部設置に伴い定員減となる学科の手続きについて、学位等の変更がない場合は、事前伺いの必要はなく、定員変更の報告のみとなるとの説明があった。また、高校生及び企業対象のニーズ調査を実施中であるとの報告があった。

野村文学部長から、資料中のリベラルアーツ科目の内容は工学分野に偏っているが概念を従前から変更したのか及びリベラルアーツ科目の科目区分について質問があり、小路田理事から、本資料のリベラルアーツ科目は、STEAM教育を意識し、工学基礎科目や知識を使うことを涵養するための専攻教員が担当する科目を中心に記載している、人文社会学系科目をリベラルアーツ科目に含めること及びリベラルアーツ科目の科目区分を全学共通科目とするか、工学部に限った科目とするかは検討中であるとの説明があった。

中山満子評議員から、全学カリキュラムポリシーで定義している教養養育の位置づけとの整合性はどのように考えているのかとの意見があり、小路田理事から、全学カリキュラムポリシーを前提として考えているがさらにリベラルアーツ科目として足りない科目については工学部科目として実施することになるとの説明があった。

三成副学長から、工学部の大学院を設置することについて質問があり、小路田理事から設置を検討しているが、奈良先端科学技術大学院大学との調整が必要であるとの説明があった。

高田研究科長から、文科省相談時の資料一式を情報提供してほしい、また棚瀬評議員から、それには科目一覧や担当教員も明らかなはずなので、それらも含め提供してほしい、との意見があり、小路田理事から対応を検討するとの発言があった。

5. 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について

学長から、資料10により説明があり、部局と情報交換しながら調書作成を進めたいとの発言があった。また、小路田理事から、18歳人口減も飲みこむ新たなニーズがあることを文科省に示す必要があるので、文学部と生活環境学部にある心理学分野の連携による学部等連携過程の設置や奈良教育大学との教育学分野の連携による強化等の可能性についても検討してほしいとの依頼があった。

野村文学部長から、子ども教育専修プログラムを設置したばかりであることもあり、急に特定分野を指定して検討を依頼されても対応に困るとの意見があった。

高田人間文化研究科長から、学部等連携課程の他大学の動向について情報収集してほしいとの意見があった。

三成副学長から、調書の作成担当者及び進め方について質問があり、小路田理事から分担表に記載のとりまとめ理事がそれぞれ関係部局長と相談しながら作成することになるとの説明があった。三成副学長から、本会議で議論する時間がないので、担当理事と部局長が直接対話する場を設ける

ことを強く要望するとの発言があった。

6. 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
小路田理事から、資料11により報告があった。
7. 令和2年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果（原案）について
財務課長から、資料12により報告があった。
8. 大学機関別認証評価について
小路田理事から、資料13により依頼があり、併せて今後のスケジュール等について周知があった。
9. 第3期中期目標期間の教育研究の状況についての評価（法人評価）について
小路田理事から、現在の進捗状況の説明と、ひきつづいての達成状況報告書等の作成依頼があった。
10. 学生満足度調査（平成31年3月卒業者対象）結果報告について
小路田理事から、資料14により報告があった。
11. 卒業生の学習成果に関する調査（卒業5年目の者に対する振り返り調査）結果報告について
小路田理事から、資料15により報告があった。
12. 自己点検評価に必要な定量データ（年次基礎データ集）について
小路田理事から、資料16により報告があった。
13. 奈良女子大学と南京大学とのダブルディグリー・プロジェクトに関する協定書の締結について
吉村副学長から、11月9日に南京大学において協定を締結したことの報告があった。また、香港においてデモ隊の拠点となった香港理工大学に留学していた本学学生が無事帰国したことの報告があった。
14. 専攻の廃止について
学務課長から、資料17により報告があった。
15. 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）令和元年度フォローアップ報告書について
成瀬副学長から、資料18により報告があった。また、「令和元年 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業シンポジウム～の地方創生 その先へ～」を12月5日に開催することの周知及び参加依頼があった。
16. アカデミック Week の開催について
藤原理事から、資料19により報告があり、部局内での周知依頼があった。
17. 令和元年度全学教職員研修会の実施について
三成副学長から、資料20により報告があり、部局内での周知依頼があった。また、12月4日に開催するハラスメント・防止対策委員会主催の全学研修会の時間変更について報告があった。
18. 各室等からの報告について
特になし

19. その他
特になし

以上